ご家庭における
今冬の節電のお願い

平素は弊社事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、今夏の節電にご協力いただき、誠にありがとうございました。重ねてお礼を申し上げます。

弊社は、夏以降も引き続き供給力確保に向けて最大限の努力を尽くしてまいりました。しかしながら、現在定期検査中の原子力発電所が再稼動できない状況が続き、加えて、現在稼動中の原子力発電所が定期検査に入ると、今冬は、非常に厳しい需給状況となる見込みです。

弊社は、引き続き供給力確保に向けて全力を尽くしてまいりますが、広域的な停電を回避するため、やむを得ず、お客さまに再度節電のご協力をお願いすることといたしました。

ご不便とご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

節電に関するお問い合わせについて

関西電力ホームページをご覧いただくか、下記の電話番号までお問い合わせください。

関西電力ホームページ **http://www.kepco.co.jp/**

節電お問い合わせ専用ダイヤル（通話料無料） **0120-911-777**

【受付時間】平日（月～金）9:00～20:00/土日祝 9:00～17:30

※お電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※一部のIP電話からは、ご利用いただけない場合がございます。
※お問い合わせの際には、番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いいたします。
※耳やことばがご不自由なお客さまにつきましては、FAXによるお問い合わせも承っております。

FAX 0120-911-011〈受付時間 平日（月～金）9:00～17:30〉

※12月29日（木）～1月4日（水）の電話・FAXの受付は、土日祝と同様とさせていただきます。

2011.11.1

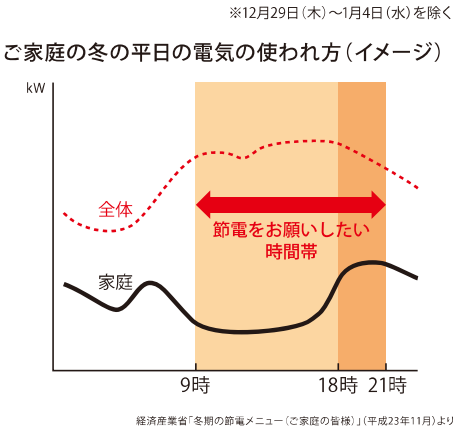
12月19日(月)～3月23日(金)の平日※、9時～21時の間、10%以上の節電にご協力をお願いいたします。

特にご家庭でのご使用が増える夕方以降の時間帯(18時～21時)のご協力をお願いいたします。

※12月29日(木)～1月4日(水)を除く

冬の電力需要は、平日の14時頃にピークが先鋭化する夏に比べると、ピークは朝から夜にかけて長くなだらかになる傾向があります。また、ご家庭の電力需要は、ご家族がご帰宅される夕方より増え始め、全体の電力需要に占める割合も大きくなります。ご家庭のお客さまには、**平日の9時～21時**、特にご家庭でのご使用が増える**夕方以降の時間帯(18時～21時)の節電にご協力をお願いいたします。**なお、節電にあたっては、健康に影響のない範囲でご協力をお願いいたします。

ご家庭の冬の平日の電気の使われ方(イメージ)

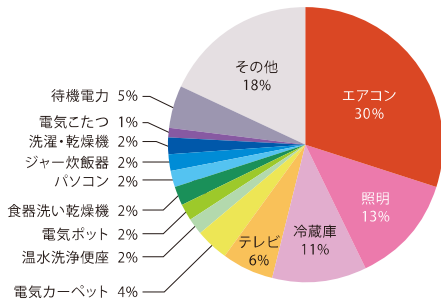
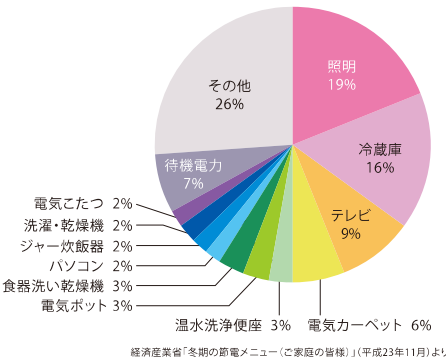
経済産業省「冬期の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成23年11月)より

暖房機器や照明など、消費電力の割合が高い電化製品の節電をしていただくと効果的です。

冬の19時頃では、暖房機器や照明、冷蔵庫などの消費電力の比率が高くなっています。これらの機器を中心に、節電にご協力をお願いいたします。節電に取り組んでいただく際の目安は、右記の節電対策チェックシートをご覧ください。

■ご家庭における冬の19時頃の消費電力(例)

①通常、エアコンを使用されるご家庭

②通常、ガス・石油ストーブ等を使用されるご家庭

経済産業省「冬期の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成23年11月)より

■ご家庭の節電対策チェックシート

節電に取り組んでいただく際の目安としていただけるよう、「通常、エアコンを使用されるご家庭」と、「通常、ガス・石油ストーブ等を使用されるご家庭」で、節電効果を分けて記載しております。ご自宅のご使用状況に合わせてご活用ください。節電にあたっては、健康に影響のない範囲でご協力をお願いいたします。その他の詳しい節電方法は、本紙P3～8をご覧ください。

お願いしたいこと	節電効果(削減率)*		チェック
	通常、エアコンをご使用	通常、ガス・石油ストーブ等をご使用	
エアコン ※暖房の控え過ぎによる体調不良などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。			
重ね着などをして、室温20℃を目安に設定してください。※設定温度を2℃下げた場合	7%	―	□
窓には厚手のカーテンを掛けてください。	1%	―	□
照明			
不要な照明をできるだけ消してください。	4%	6%	□
テレビ			
画面の輝度を下げ、必要な時以外は消してください。※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2／3に減らした場合	2%	3%	□
★冷蔵庫			
冷蔵庫の設定を「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないでください。	1%	2%	□
ジャー炊飯器			
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊いて、保温機能は使用せずに、よく冷ましてから冷蔵庫に保存してください。	1%	2%	□
★温水洗浄便座(瞬間式)			
便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉めてください。	1%未満	1%	□
★待機電力			
リモコンではなく、本体の主電源を切ってください。使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。	1%	2%	□
削減率の合計が10%以上となるよう節電にご協力をお願いいたします。 合計	%	%	

外出の際にも★の対策にご協力をお願いいたします。

＊節電効果の記載値は、夕方ピーク時の消費電力(「通常、エアコンを使用されるご家庭」は約1400W、「通常、ガス・石油ストーブ等を使用されるご家庭」は約1000W)に対する削減率の目安です。 ＊合計の削減数値は目安であり、実際と異なる場合があります。 [参考]経済産業省「冬期の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成23年11月)

ご家庭における具体的な節電方法

ご家庭における節電方法を、電化製品別に下記の**3種類**に分けてご紹介しております。取り組みやすいものから、一つでも多くの節電にご協力いただきますようお願いいたします。

電化製品の設定変更など、使い方を工夫していただく方法です。

電化製品のご使用時間をシフトしていただく方法です。

替える

より省エネ性・節電効果の高い機器に切り替えていただく方法です。

今冬の節電ポイント

長時間にわたって節電をお願いしている今冬では、冷蔵庫の設定を「弱」に変えるなど、一度設定すれば自動的に節電につながる方法が特に効果的です。

マークがついた節電に是非ともご協力ください。

エアコン

室温は20℃を目安に

設定温度は低めに。ドア・窓の開閉を少なくしてください。

厚手のカーテンで断熱性を向上

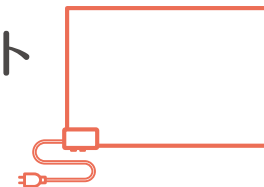
床まで届く長いカーテンがより効果的です。

フィルターのこまめなお掃除を

フィルターの目づまりは、エアコンの効率を悪くします。こまめなお掃除が節電につながります。

室外機のまわりは整理整頓を

室外機の風通しがよくないと効率が落ちます。まわりに物を置かないようにしてください。

電気カーペット

設定温度を低めに

人のいるところだけあたためる

分割してあたためる機能がある機種では、必要のない部分まであたためないようにしてください。

断熱マットで効率アップ

床に熱が逃げないように、電気カーペットと床との間に断熱マットを敷くと効果的です。

電気こたつ

設定温度を低めに

上掛けなどの併用を

こたつ布団に、上掛けなどを併用すると、あたたまった空気が逃げにくく効果的です。

その他の暖房対策

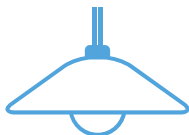
★エアコンと電気ストーブ、ヒーターを上手に使い分けてください。
　広い部屋をあたためる場合は、エアコンが効率的です。

★扇風機やサーキュレーターで、部屋の上部の暖気を循環させるのも効果的です。

★カーディガンなど、1枚多めの重ね着をお願いします。

※暖房の控え過ぎによる体調不良などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。

※暖房器具をご使用の際は、「ご使用上の注意」等をご確認いただき、安全にお使いください。

照 明

不要な照明は消灯を

こまめに消灯し、照明をできるだけ減らしてください。家族で集まって過ごし、誰もいない部屋の照明は、消してください。

こまめなお掃除でいつも明るく

ホコリがたまっていると明るさが落ちてしまいます。こまめに、かさやカバーも拭いてください。

省エネ型への取り替えを

白熱電球を、電球型蛍光ランプやＬＥＤ電球に取り替えると大きな節電効果があります。
※照明器具を取り替える際は、「ご使用上の注意」等をご確認いただき、安全にお使いください。

テレビ

見ないときは消す

ポイント

画面の輝度を下げる

画面の輝度を上げると、たくさんの電気を消費します。省エネモードに設定することで、電気の消費を抑えることができます。
※省エネモードに関しては、お使いのテレビの取扱説明書等でご確認ください。

こまめなお掃除で画面を明るく

画面が暗いと感じたら、輝度を上げるのではなく、まず、画面を掃除してください。静電気の影響でホコリがたまりやすいのでこまめにお掃除をしてください。

主電源オフを習慣に

寝る前や外出時は、主電源を切ってください。ビデオやゲーム機の主電源を切ることも効果的です。旅行などの長期の外出時には、プラグを抜いてください。

冷蔵庫

ポイント

冷蔵庫の設定を「弱」に

設定を「弱」にすれば、節電効果があります。庫内温度は上昇しますので、食品の傷みにご注意ください。

ドアの開閉は、回数も時間も少なめに

お買い物から帰ってきたら、まず、冷蔵室、冷凍室など、どこに入れるものかを分類してからつめるのも効果的です。

つめこみ過ぎにご注意

食品をつめこまないようにしてください。そうすることで探しものが見つけやすく、ドアの開閉時間も短くなります。しかも、冷気の循環もよくなり効率よく冷やすことができます。

壁から離して配置を

壁にぴったりつけてしまうと放熱ができず、電気をたくさん消費します。冷蔵庫は周囲の壁に接することなく、空間が取れるように配置してください。

熱いものは冷ましてから

いきなり熱いものを入れると庫内の温度が上がってしまい、設定温度まで下げるために電気をたくさん消費することから、ある程度冷ましてから冷蔵庫に入れてください。

パソコン

省電力設定の活用を

省電力設定を活用することで、電気の消費を抑えることができます。

炊飯器

長時間保温は避ける

タイマー機能を活用して早朝に1日分をまとめて炊き、保温機能は使用せずに、よく冷ましてから冷蔵庫に保存してください。

電気ポット

長時間使用しないときは電源を切る

お湯を沸かすときは、必要な分だけ沸かし、長時間の保温を避けてください。

食器洗い乾燥機

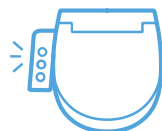
食器はまとめて

少しの食器を洗うと洗剤やお水を余分に使用し、さらに洗う回数が増えることで電気をたくさん消費します。ある程度まとめて洗うと効率的です。

洗濯機

まとめ洗いを

できるだけまとめて洗うようにすれば、水も電気も節約できます。ただし、洗濯物の入れ過ぎにはご注意を。回転が悪くなり、十分な洗浄ができません。洗濯機の能力に見合った量にしてください。

温水洗浄便座

ポイント

便座保温・温水の設定温度を下げる

使わないときはふたを閉める

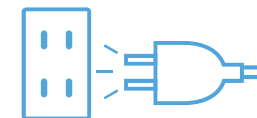
掃除機

かける前にお部屋の整理整頓を

お部屋の整理整頓をすることで、一気に掃除機をかけることができ、使用時間を短くすることができます。

ゴミパックはいっぱいになる前に取り替えを

ゴミパックがいっぱいになってしまうと、吸引力が下がってしまいます。ゴミの吸い取り口やローラーのお掃除もこまめにお願いします。

その他

待機電力を減らす

リモコンではなく、本体の主電源を切ってください。使わない機器はコンセントからプラグを抜くようにしてください。スイッチ付きタップを利用するとプラグの抜き差しがなく便利です。

待機電力はご家庭の消費電力の約6％＊

電化製品の中には、時計や液晶表示などの機能維持や、リモコンからの信号を待つために電気を消費しているものがあります。これが待機電力です。テレビ、パソコン、空気清浄機など、ご家庭でお使いの電力のうち、待機電力が占める割合は年間約6％。見逃せない節電ポイントです。

＊「平成20年度 待機時消費電力調査報告書」より

夕方に電化製品の使用が重ならないよう家事のスケジュールをたてる

1 日の家事スケジュールをたてて、特に家庭の電力需要が高くなる夕方以降の時間帯（18時～21時）に一斉に電化製品を使用することがないようにお願いします。タイマー機能があるものは、ご活用いただくと便利です。

省エネ家電に買い替える

<統一省エネラベル>

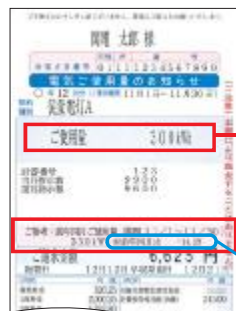
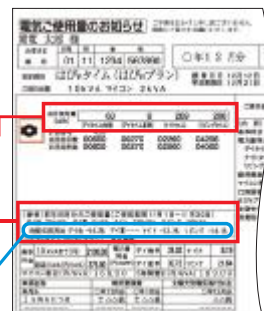
最新型の電化製品は消費電力が少なく、買い替えると大きな節電効果があります。ご購入の際には、統一省エネラベルを参考にしてください。（ただし、お使いの電化製品をより大型のものに替えると、消費電力が増えることもありますのでご注意ください）

［参考］経済産業省「冬期の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成23年11月）、（財）省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典2011年版」

電気のご使用量を前年同月と比較することで、節電効果のご参考としていただけます。

電気ご使用量のお知らせ（検針票）

毎月お手元に届く「電気ご使用量のお知らせ」に前年同月のご使用量が記載されています。さらに、12月分からご使用量の削減率（対前年同月比）が記載されますので節電効果のご参考としていただけます。

■従量電灯や低圧電力をご契約のお客さま　　■はぴeタイムなどをご契約のお客さま

はぴeタイムなどをご契約のお客さまは、各時間帯の削減率（対前年同月比）を確認いただくことができます。たとえば、デイタイム（10時～17時）とリビングタイム（7時～10時、17時～23時）の削減率を見れば、節電をお願いしている時間帯である平日9時～21時に比較的近い節電効果のご参考としていただけます。

※お引越しや契約変更などをされたお客さまは、表示されない場合がございます。
※高圧のお客さまについては、表示されません。

電気ご使用量のお知らせ照会サービス（はぴeみる電）

「電気ご使用量のお知らせ」を、WEBサイトで照会できるサービスです。毎月の検針結果をパソコンや携帯電話からいつでも簡単に確認できます。前年同月や前月のご使用実績と比較できるのに加え、過去24ヶ月分の電気ご使用量・料金もグラフ・表で照会できるなど節電効果を詳しく確認できます。その他、ご家庭のCO_2排出量もチェックできます。
ご登録は無料ですので、この機会に是非、お申し込みください。

■過去24ヶ月の使用実績画面イメージ（パソコン版）

当社ホームページから無料でご登録いただけます。

パソコン ⇒ はぴeみる電　検索

携帯電話 ⇒ http://kanden.jp　または右のコードからアクセスしてください。

※ご登録には、1週間程度かかります。なお、ご登録完了後は、「電気ご使用量のお知らせ」などはお届けいたしません。
　また、お振込用紙などを検針時にお届けしている場合は、郵送でのお届けに変更させていただきます。
※携帯電話では一部機能がご利用いただけません。
※ご契約の内容によって、サービスをご利用いただけない場合があります。

Q1　平日の夜間や土日、祝日も節電する必要がありますか？

A　平日の夜間や土日、祝日は、通常どおり電気をお使いいただけます。ただし、省エネの観点から、日頃より節電を心がけていただきますようお願いいたします。

Q2　ふだんから節電していますが、これ以上どうすればいいですか？

A　ありがとうございます。引き続きご協力をお願いいたします。

「すでに十分節電をしている」といったお声をお客さまからいただいております。ご協力ありがとうございます。今取り組んでいただいている節電を継続していただくとともに、本紙P3～8の「ご家庭における具体的な節電方法」をご覧いただき、さらに取り組んでいただけることがあれば、ご協力ください。

Q3　平日の日中は外出していますが、できることはありますか？

A　冷蔵庫や温水洗浄便座、待機電力などの節電にご協力をお願いいたします。

ご不在のご家庭におかれましても、本紙P3～8の「ご家庭における具体的な節電方法」をご覧いただき、できる範囲でご協力をお願いいたします。

Q4　こまめに照明を切ると、電球本体の寿命が短くなりませんか？

A　蛍光灯は、入り切りを頻繁にすることで寿命が短くなる場合がありますが、白熱灯やLED電球は、寿命が短くなることはありません。（メーカー調べ）